

## 横浜市市民活動推進ファンド（夢ファンド）の寄附の 新たな活用方法（組織基盤強化助成金）について

### 1 趣旨

よこはま夢ファンドの新たな活用の一つとして、よこはま夢ファンド登録団体を対象とし、団体の組織基盤強化を目的とした、新たな助成金（組織基盤強化助成金）の実施について、昨年度から横浜市市民活動運営支援事業部会（以下「部会」という。）及び横浜市市民協働推進委員会（以下「委員会」という。）にて検討していただいています。

平成26年9月19日の委員会で決まりました、新たな助成金の方向性に基づき、平成26年12月12日の委員会にて、よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金募集要項について審議いただきました。今回の委員会では、平成27年3月6日の部会にて審議いただいた、平成27年度よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金の報告書等の様式・情報交換会の概要について、審議をお願いします。

### 2 今後のスケジュール

平成27年6月に組織基盤強化助成金の募集を行う予定です。

平成27年6月	よこはま夢ファンド登録団体に対する説明会 ※平成27年度第2回登録団体助成金説明会と併せて実施
	募集（7月締切）
8月	部会による審査
9月	委員会による審査
	審査結果の通知

### 3 平成27年度よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金報告書等様式（案）

別添資料5-2をご参照ください。

### 4 平成27年度よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金情報交換会の概要（案）

別添資料5-3をご参照ください。

### 5 平成26年度第3回横浜市市民協働推進委員会市民活動運営支援事業部会

(1) 開催日時

平成27年3月6日（金） 13時30分～16時00分

(2) 市民活動運営支援事業部会名簿（部会長を除き五十音順）

	氏名	所属等
部会長	名和田 是彦	法政大学 法学部 教授
専門委員	泉 一弘	特定非営利活動法人 ふらっとステーション・ドリーム理事長
専門委員	清水 靖枝	長屋門公園歴史体験ゾーン 事務局長
専門委員	堤 剛史	横浜信用金庫 融資部 企業経営支援チーム
推進委員	時任 和子	特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク理事長

よこはま夢ファンド  
組織基盤強化助成金交付申請書

(あて先) 横浜市長

		平成	年	月	日
団体名					
主たる 事務所の 所在地	〒				
代表者 役職 氏名	○				

(代表者氏名が自署の場合は印不要)

平成 年度 よこはま夢ファンド 組織基盤強化助成金の交付を受けたいので、次の書類を添えて申請します。

助成金交付申請額 \_\_\_\_\_ 円

【添付書類】

- 1 計画書 (第2号様式)
- 2 収支予算書 (第3号様式)
- 3 前事業年度の役員名簿
- 4 前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿
- 5 前事業年度の事業報告書
- 6 前事業年度の活動計算書
- 7 当該事業年度の事業計画書
- 8 当該事業年度の活動予算書

※下表から、申請日時点での助成金交付申請団体の主な活動分野を選択し、番号を記入してください。

助成金交付申請団体の活動分野	
----------------	--

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保健・福祉・子ども (保健・医療、福祉、子どもの健全育成)</li> <li>2 まちづくり・環境 (まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興)</li> <li>3 文化・スポーツ (生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術)</li> <li>4 国際・人権・平和 (国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画)</li> <li>5 経済・観光振興 (情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興)</li> </ol> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。

## 計 画 書

取組名	
団体における、 現状の課題（申 請にあたって の趣旨・目的）	
組織体制 について	
取組内容	
取組の対象者	
期待される 効果	
団体の収入 について	
申請に あたって	

貴団体の理事、監事又は社員の中に横浜市市民協働推進委員会委員又は横浜市市民活動運営支援事業部会委員はいますか？ はい（委員名： ） ・ いいえ

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。

-----  
※連絡責任者をご記入ください。

こちらに記載された情報は、貴団体との連絡・調整に使用するもので、公開の対象とはなりません。

連絡責任者	氏名（よみがな）	
	郵便物発送先	〒
	電話番号	
	ファックス番号	
	Eメールアドレス	

## 収 支 予 算 書

【収入】

(単位：円)

	項 目	金 額	説 明
	団体負担（会費・寄附等）		
助 成 金	よこはま夢ファン্ড組織基盤強化助成金		
	その他の助成金		
	合 計		

【支出】

	項 目	金 額	説 明（使途、積算根拠等）
	合 計		

\* 申請する取組の収支予算を記入してください。

\* よこはま夢ファン্ড組織基盤強化助成金の対象経費とする予定の支出項目については、項目名の右欄に★印を付けてください。

助成金申請額を減額して助成金の交付決定をした場合、当該取組の実施は可能ですか？  
 ( はい                      いいえ ) ←いずれかに○

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなければなりません。

よこはま夢ファンド  
組織基盤強化助成金 中間報告書（自己評価報告書）

（あて先）横浜市長

平成 年 月 日	
団体名	
主たる 事務所の 所在地	〒
代表者 役職 氏名	

次の通り、ファシリテーターとともに、1回目の自己評価を実施した結果を報告します。

実施日時	平成 年 月 日 時～ 時
派遣ファシリテーター名	
参加者 （人数・役職・氏名）	
話し合った 主な内容	
気づいた事 ・学んだ事	
気づき・学びを 今後の取組や団 体の活動にどの 様に生かしてい くか	

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません

よこはま夢ファンド  
組織基盤強化助成金報告書

(あて先) 横浜市長

		平成	年	月	日
団体名					
主たる 事務所の 所在地	〒				
代表者 役職 氏名					

平成 年 月 日市市活第 号で交付決定の通知を受けた平成 年度よこはま夢ファンド 組織基盤強化助成金に関する助成対象経費について、報告します。

助成金交付額	助成金支出額	差額
円	円	円

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。

## 報 告 書

取組名		
取組内容 ・経過		
取組の対象者		
取組を通じて 団体として、 実施したこと ・成長したこと		
2回目の 自己評価に ついて	実施日時	平成 年 月 日 時～ 時
	派遣ファシリテ ーター名	
	参加者 (人数・役職・ 氏名)	
	話し合った 主な内容	
	気づいた事 ・学んだ事	
	今回の取組を 今後の団体の 活動にどの様 に活かしてい くか	

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなければなりません。

## 収 支 決 算 書

【収入】

(単位：円)

	項 目	金 額	説 明
	団体負担（会費・寄附等）		
	参加費・資料代等		
助 成 金	よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金		
	その他の助成金		
	合 計		

【支出】

	項 目	金 額	説 明（使途、積算根拠等）
	合 計		

\* 助成金交付の対象である事業の収支決算を記入してください。

\* よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金の対象経費を含む支出項目については、項目名の右欄に★印を付けてください。

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。



## 平成27年度よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金情報交換会の概要(案)について

### 1 概要

平成27年度から開始する、組織基盤強化助成金の内容について、これまで横浜市市民活動運営支援事業部会(以下「部会」という。)及び横浜市市民協働推進委員会(以下「委員会」という。)にて協議・審議を行っていただきました。その結果、組織基盤強化助成金事業において、交付団体同士が交流し、お互いに意見交換する場(以下「情報交換会」という。)を設けることとしております。情報交換会の概要は次の通りです。

### 2 情報交換会について

#### (1) 対象者

参加必須：組織基盤強化助成金交付団体

自由参加：よこはま夢ファンド登録団体

#### (2) 開催場所

横浜市市民活動支援センター4階 ワークショップ広場

#### (3) 開催日時

平成28年1月頃(予定) 15時～17時頃

※平成28年度第1回よこはま夢ファンド登録団体助成金・組織基盤強化助成金説明会(以下「説明会」という。)と同日に開催します。

#### (4) 説明会と同日開催する狙い

説明会と同日開催することで、助成金交付団体以外の団体の参加も促します。

また、平成28年度の組織基盤強化助成金の申請を検討している団体が、情報交換会に参加することによって、助成金の内容を具体的にイメージしやすくなります。

#### (5) 内容

- ・助成金交付団体は2グループに分かれ、これまでの経過を報告する。

(報告5分×5団体=25分)

※取組内容や団体の活動分野に類似性がある団体が同じグループになるようにグループ分けを行う。

※自由参加者については、見学するグループは自由に選べるものとする。(1番目の発表はAグループを見学し、2番目の発表はBグループを見学すること等も可能。)

※団体の発表中、参加者はポストイットを記入。(エール、アドバイス、質問)

- ・ポストイットを参考にしながら、ファシリテーターの進行の下、グループ内で意見交換を行う。

※ファシリテーターは、組織基盤強化派遣ファシリテーターに務めていただく予定。

# 平成 27 年度よこはま夢ファンド 組織基盤強化助成金 募集要項(案)(平成 27 年1月 21 日説明会版)

## 1 趣旨

よこはま夢ファンドは、市民の皆様や企業等からの寄附を積立て、あらかじめ登録したNPO法人に対する事業助成を行うことを目的に、市が設置した基金です。平成 17 年度の基金の設置以降、よこはま夢ファンド登録団体も順調に増え、平成 27 年 1 月現在、170 団体が登録されています。しかし、登録団体の中には、「活動する仲間が増えない。」、「外部との連携が上手くできない。」、「団体の発展性が見えず、足踏み状態になっている。」、「団体を運営する資金が足りない。」等の組織基盤に関する悩みを抱えている団体もいます。そこで、この度、団体の組織基盤の安定や強化を図ることにより、市民公益活動の活性化へと繋げることを目的とし、基金を活用し、組織基盤強化の取組の実施にかかる費用を助成する、よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金制度を新たに設けました。

※なお、「よこはま夢ファンド登録団体助成金」も従来通り、実施しています。

## 2 組織基盤強化助成金の概要

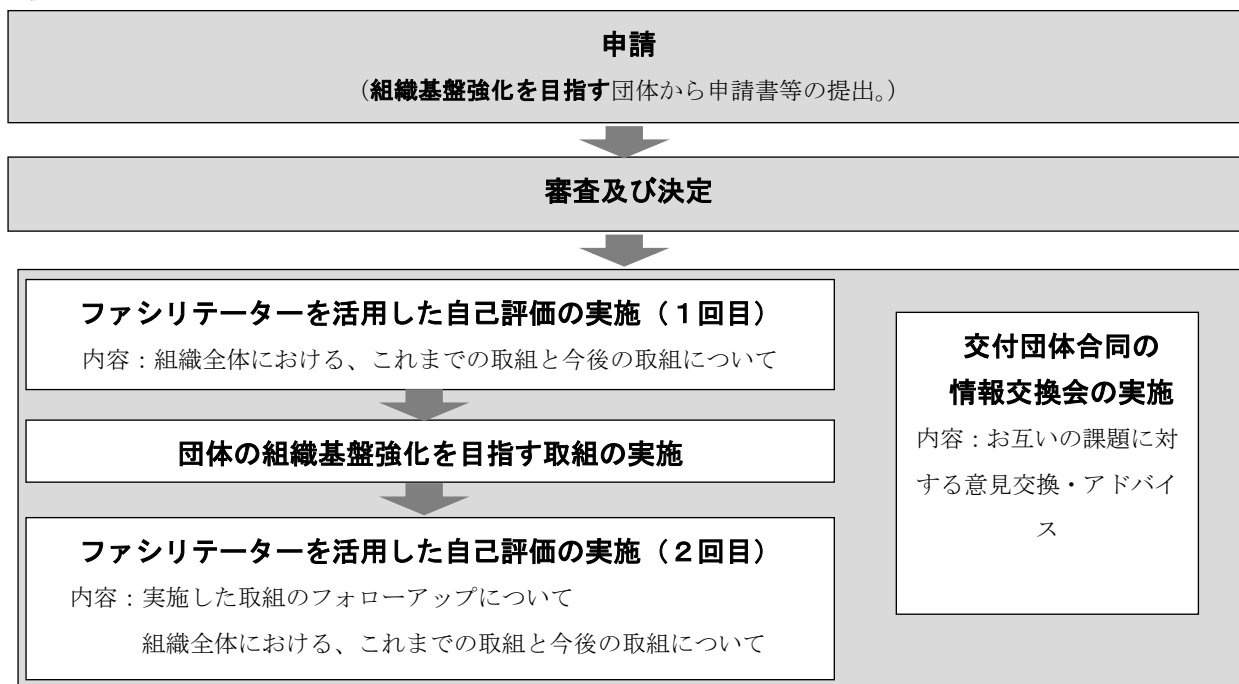
### (1) 対象

よこはま夢ファンド登録団体

### (2) 内容

- ① 団体の組織基盤強化に関する取組の実施にかかる費用の助成
- ② 自己評価の実施（2回）にかかるファシリテーター費用の助成
- ③ 組織基盤強化助成金交付団体（以下「交付団体」という。）合同の情報交換会の機会の提供

### (3) 流れ



### 3 助成対象について

(1) 助成対象となる取組について

団体の組織基盤強化を目指した取組を申請の対象とします。

① 広報の取組

- ・ 団体周知のための広報
- ・ 調査研究

② 人材育成の取組

- ・ 団体職員のスキルアップ
- ・ インターン、ボランティアの受入れ

③ その他組織基盤強化を目指した取組

(2) 助成対象取組の実施期間

平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月

(3) 想定件数及び 1 件あたりの助成金上限額

① 想定件数

10 件

② 1 件あたりの助成金上限額

¥390,000.-（内、¥90,000.-はファシリテーター派遣報酬費に充当してください。）

※申請状況や選考結果によっては、補助対象件数が上記と異なる場合がありますので御了承ください。

(4) 対象経費

よこはま夢ファンドに登録された特定非営利活動法人が行う、平成 27 年 10 月から平成 28 年 3 月末までに実施する団体の組織基盤強化に係る取組の経費とします。

ただし、横浜市が実施している他の助成制度による助成を受けている取組の経費については対象になりません。

(5) 申請可能件数

1 団体につき、1 件（取組）とします。

なお、1 団体あたりの交付回数は 1 回のみです。平成 27 年度の組織基盤強化助成金交付団体は、平成 28 年度以降の組織基盤強化助成金に申請することはできません。

### 4 自己評価の実施について

交付団体は、助成対象取組の実施期間（平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月）において、2 回、自己評価を行う必要があります。自己評価は、原則、助成対象取組の実施前・実施後に行うものとします。自己評価を行う際は、横浜市市民活動支援センターからファシリテーターを派遣します。なお、ファシリテーター派遣報酬費として ¥90,000.-が必要となり、助成金から報償費を支出していただきます。ファシリテーター派遣にあたっての手続きの詳細については、別途お知らせします。

※ファシリテーターは団体が自己評価を行う際に、団体の意見や気づきを引き出すために派遣しています。

## 5 情報交換会の実施について

交付団体が集まり、お互いの課題に対する意見交換やアドバイスを行う、情報交換会を実施します。交付団体は必ず出席してください。なお、開催日時や場所等については、交付団体が決まり次第、別途お知らせします。

## 6 手続きについて

別紙、「平成 27 年度よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金の手続きについて」参照

## 7 審査

### (1) 審査方法

横浜市市民活動運営支援事業部会・横浜市市民協働推進委員会で審査を行い、横浜市が助成先及び助成金額を決定します。

### (2) 審査基準

審査の際には、次の審査基準に基づき申請内容について審査を行います。

審査基準 (配点)	説明
必要性 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自団体の現状の課題を把握した上で、組織基盤強化に取り組む目的・取組内容が記載されているか。</li> <li>取組内容や経費は、団体にとって必要性を十分に踏まえたものとなっているか。過大な経費となっていないか。</li> </ul>
活動の継続性及び発展性 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の活動が、団体の自主的・自発的な思いやきっかけによって、地域や市民への還元のために開始されたものか。</li> <li>助成金を受けることで、現在の活動が安定し、より幅広いサービスの提供や、活動範囲の拡大などに繋がっていく可能性があるか。</li> </ul>
公益性 (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の活動が、不特定多数の人の利益に供し、先駆性、独創性、専門性など市民公益活動としての特性が生かされる活動を行っているか。</li> </ul>
公開性 (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の内容や経費の用途に関し、誰もが理解できるような表現がされているか。</li> <li>団体の事業報告書等が所轄庁に提出されているか。</li> </ul>

### (3) 基準点

横浜市市民活動運営支援事業部会における評価点の満点（30点×5人＝150点）の6割の90点を基準点とします。

評価点の合計点が基準点（90点）を超えた団体について、評価点が高い順に10件を交付団体とします。

## (4) 横浜市市民活動運営支援事業部会（五十音順）※平成27年1月21日時点

	委 員 名	役 職
専 門 委 員	泉 一 弘	特定非営利活動法人 ふらっとステーション・ドリーム 理事長
専 門 委 員	清 水 靖 枝	長屋門公園歴史体験ゾーン 事務局長
専 門 委 員	堤 剛 史	横浜信用金庫 融資部 企業経営支援チーム
推 進 委 員	時 任 和 子	特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク 理事長
専 門 委 員	名和田 是彦	法政大学 法学部 教授

## (5) 横浜市市民協働推進委員会（五十音順）※平成27年1月21日時点

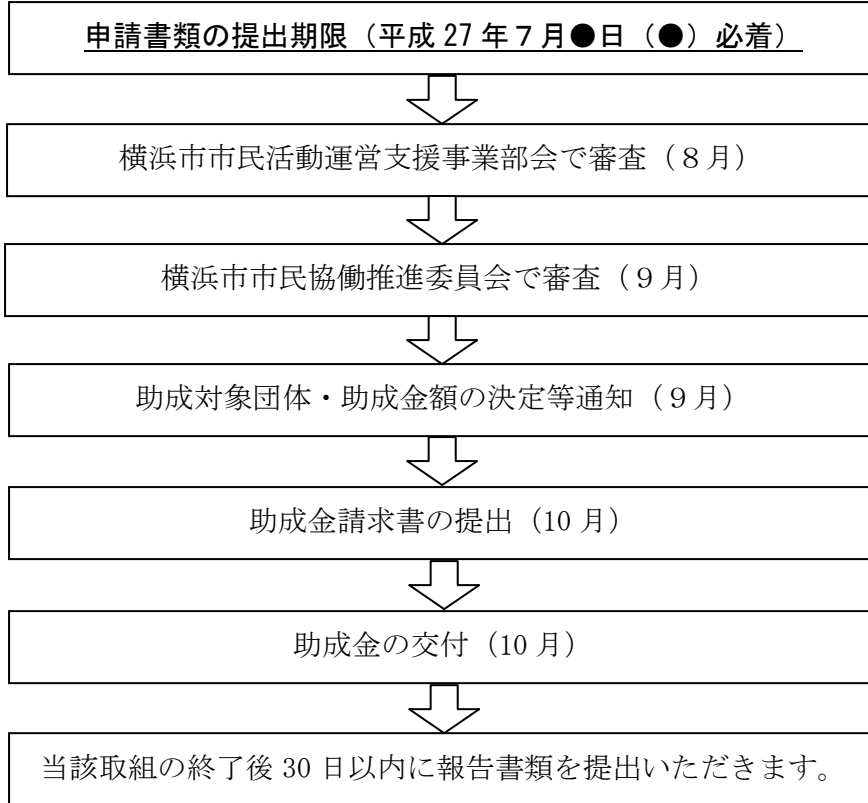
委 員 名	役 職
奥山 千鶴子	特定非営利活動法人びーのびーの 理事長
小 濱 哲	横浜商科大学貿易・観光学科教授
酒井 正樹	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会地域活動部長
時 任 和 子	特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク 理事長
中 島 智 人	産業能率大学経営学部准教授
治 田 友 香	関内イノベーションイニシアティブ株式会社 代表取締役
松 村 正 治	恵泉女学園大学人間社会学部現代社会学科准教授 特定非営利活動法人 よこはま里山研究所NORA理事長
三 輪 律 江	横浜市立大学大学院国際総合科学群准教授

## 8 その他

- 申請書一式を、担当までご持参ください。締め切り日は申請が集中しますので、余裕をもってお申し込みください。（※郵送の際には、あらかじめご連絡の上、締切日必着でお送りください。）
- 申請内容については事務局から質問させていただくことや、助成金を受け取ることが決定した場合には、書類を閲覧に供していただくことから、申請書類の写しをとっておいてください。
- 交付を決定した団体については、助成金を活用した取組の実施状況の報告会や、広報などへの御協力をいただく場合があります。
- 助成金の交付決定後、交付対象の経費の内容等を変更または中止しようとするときは、変更等申請書を提出いただきます。
- 交付額に余剰が生じた場合には返還させていただきます。
- 委員会の委員及び部会の専門委員の関係団体の申請について、当該委員は助成金交付に関する決定及び審査には関わらないこととしますので、貴団体の役員及び会員が委員会の委員及び部会の専門委員にいる場合は、助成金申請時にお申し出ください。
- 上記の場合を除き、今回の助成金に関して、委員会の委員及び部会の専門委員との接触があった団体の申請は無効とします。
- 交付を決定した団体は、政治資金規正法第22条の3に基づき、交付決定の通知を受けた日から同日後1年を経過する日までの間、政治活動に関する寄附を行うことができません。
- この事業は、平成27年度予算案が横浜市会において議決されたあとに実施が確定します。

## 平成 27 年度よこはま夢ファンド 組織基盤強化助成金の手続きについて

### 1 手続きの流れ(予定)



### 2 申請書類

- ①交付申請書 (第 1 号様式)、②計画書 (第 2 号様式)、③収支予算書 (第 3 号様式)、④前事業年度の役員名簿、⑤前事業年度の社員のうち 10 人以上の者の名簿、⑥前事業年度の事業報告書、⑦前事業年度の活動計算書、⑧当該事業年度の事業計画書、⑨当該事業年度の活動予算書

### 3 募集締切

平成 27 年 7 月 ● 日 (●) 必着

### 4 審査結果の通知

申請団体には、審査の結果を、郵送により通知します。

### 5 助成金の請求手続き

交付決定通知を受けた団体は、同封されている助成金の請求書により請求してください。

### 6 取組の報告

当該取組の終了後 30 日以内に必ず報告書類を提出してください。

なお、報告書類には、領収書の写しも添付してください。

詳細は、助成金交付団体が決まり次第、別途お知らせします。

**問い合わせ先**

横浜市市民局市民活動支援課 よこはま夢ファンド担当

住 所：〒231-0062 横浜市中区桜木町 1-1-56 みなとみらい 21 クリーンセンタービル 7階

電 話：045-227-7965、F A X：045-223-2032

よこはま夢ファンド助成金 スケジュール（予定）（平成27年1月～平成28年3月）

※スケジュールは今後変更する可能性があります。

年	月	組織基盤強化助成金		登録団体助成金			
		H27 (取組対象期間： H27.10～H28.3)	H28 (取組対象期間： H28.4～H29.3)	H27 第1回 (事業対象期間： H27.4～H28.3)	H27 第2回 (事業対象期間： H27.9～H28.3)	H27 第3回 (事業対象期間： H27.12～H28.3)	H28 第1回 (事業対象期間： H28.4～H29.3)
27	1	説明会		1/21 説明会・ 募集開始			
	2			2/10 募集締切 り			
	3			3/6 事業部会 による審査			
				3/9 推進委員 会による審査			
				結果の通知			
	4						
	5			助成金の支払			
	6	説明会・募集開始			説明会・募集開 始		
	7	募集締切り			募集締切り		
	8	事業部会による審 査			事業部会による 審査		
	9	推進委員会によ る審査			推進委員会に よる審査	説明会・募集開 始	
						結果の通知	
10	助成金の支払			助成金の支払	事業部会による 審査		
11					推進委員会に よる審査		
12					結果の通知		
28	1		説明会・募集開始			助成金の支払	説明会・募集開 始
	2		募集締切り				募集締切り
	3		事業部会による 審査				
推進委員会によ る審査			推進委員会に よる審査				



(第1号様式)

よこはま夢ファンド  
組織基盤強化助成金交付申請書

(あて先) 横浜市長

	平成 年 月 日
団体名	
主たる事務所の所在地	〒
代表者役職氏名	○

(代表者氏名が自署の場合は印不要)

平成 年度 よこはま夢ファンド 組織基盤強化助成金の交付を受けたいので、次の書類を添えて申請します。

助成金交付申請額 \_\_\_\_\_ 円

【添付書類】

- 1 計画書 (第2号様式)
- 2 収支予算書 (第3号様式)
- 3 前事業年度の役員名簿
- 4 前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿
- 5 前事業年度の事業報告書
- 6 前事業年度の活動計算書
- 7 当該事業年度の事業計画書
- 8 当該事業年度の活動予算書

※下表から、申請日時点での助成金交付申請団体の主な活動分野を選択し、番号を記入してください。

助成金交付申請団体の活動分野	
----------------	--

- 1 保健・福祉・子ども (保健・医療、福祉、子どもの健全育成)
- 2 まちづくり・環境 (まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興)
- 3 文化・スポーツ (生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術)
- 4 国際・人権・平和 (国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画)
- 5 経済・観光振興 (情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興)

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。

(第2号様式)

計 画 書

取組名	
団体における、 現状の課題（申 請にあたって の趣旨・目的）	
組織体制につ いて	
取組内容	
取組の対象者	
期待される効 果	
団体の収入に ついて	
申請にあたっ て	

貴団体の理事、監事又は社員の中に横浜市市民協働推進委員会委員又は横浜市市民活動運営支援事業部会委員はいますか？ はい（委員名： ） ・ いいえ

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなければなりません。

※ 以下に連絡責任者をご記入ください。

こちらに記載された情報は、貴団体との連絡・調整に使用するもので、公開の対象とはなりません。

連絡責任者	氏名（よみがな）	
	郵便物発送先	〒
	電話番号	
	ファックス番号	
	Eメールアドレス	

(第3号様式)

## 収 支 予 算 書

【収入】

(単位：円)

	項 目	金 額	説 明
	団体負担（会費・寄附等）		
助 成 金	よこはま夢ファンド組織基盤強化助成 金		
	その他の助成金		
	合 計		

【支出】

	項 目	金 額	説 明（使途、積算根拠等）
	ファシリテーター派遣 報酬 ★ 費	90,000	2回分
	合 計		

\* 申請する取組の収支予算を記入してください。

\* よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金の対象経費とする予定の支出項目については、項目名の右欄に★印を付けてください。

助成金申請額を減額して助成金の交付決定をした場合、当該取組の実施は可能ですか？  
 ( はい                      いいえ ) ←いずれかに○

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。

(第1号様式)



よこはま夢ファンド  
組織基盤強化助成金交付申請書

(あて先) 横浜市長

**平成27年7月●日から  
7月●日までの日にちを記入**

平成 年 月 日

団体名		
主たる事務所の所在地	〒	
代表者	理事長	○ ○

**法務局に登録している法人代表者印(丸印)を押してください。**

**理事長・代表理事等、代表者の肩書を記入してください。**

(代表者氏名が自署の場合は印不要)

平成**27**年度 よこはま夢ファンド 組織基盤強化助成金の交付を受けたいので、次の書類を添えて申請します。

助成金交付申請額 \_\_\_\_\_ 円

【添付書類】

- 1 計画書 (第2号様式)
- 2 収支予算書 (第3号様式)
- 3 前事業年度の役員名簿
- 4 前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿
- 5 前事業年度の事業報告書
- 6 前事業年度の活動計算書
- 7 当該事業年度の事業計画書
- 8 当該事業年度の活動予算書

※下表から、申請日時点での助成金交付申請団体の主な活動分野を選択し、番号を記入してください。

助成金交付申請団体の活動分野	
----------------	--

- 1 保健・福祉・子ども (保健・医療、福祉、子どもの健全育成)
- 2 まちづくり・環境 (まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興)
- 3 文化・スポーツ (生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術)
- 4 国際・人権・平和 (国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画)
- 5 経済・観光振興 (情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興)

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。

(第2号様式)

計 画 書

取組名	簡潔に記入してください。
団体における、現状の課題（申請にあたっての趣旨・目的）	団体の現状の課題を踏まえ、申請する取組が団体にとって必要である理由を記入してください。
組織体制について	申請する取組を行うにあたっての、団体内部の人員体制を記入してください。外部の協力者がいる場合は、外部の協力者（団体・企業等）を記入してください。
取組内容	決まっている範囲で記入してください。 ※助成金交付決定時にホームページで公表しますので、わかりやすく記入してください。
取組の対象者	・申請する取組の対象者が団体の構成員の場合は、構成員の所属（例：事務局長、広報スタッフ等）や人数について、記載してください。 ・申請する取組の対象者の、主な年齢層や居住区、人数等を記入してください。
期待される効果	申請する取組の実施によって、何に対してどのような効果があるのかなどを記入してください。 審査基準も参考にしてください。
団体の収入について	現在の収入の状況と、助成金が団体にとって必要である理由を記入してください。
申請にあたって	申請にあたり、団体内で話し合った日にちと、話し合いの参加者の構成（理事、職員、ボランティア等）、話し合いによって得られた気づきを記載してください。

貴団体の理事、監事又は社員の中に横浜市市民協働推進委員会委員又は横浜市市民活動運営支援事業部会委員はいらっしゃいますか？ はい（委員名： ） ・ いいえ

※ この書類は、横浜市市民協働推進委員会事務局へ提出し、第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。

※以下に連絡責任者  
の氏名を

**募集要項に記載している委員が、団体の中にいる場合は、「はい」に○をして、委員名を記入してください。**

連絡責任者	郵便物発送先	T
	電話番号	
	ファックス番号	
	Eメールアドレス	

(第3号様式)

## 収 支 予 算 書

【収入】

(単位：円)

	項 目	金 額	説 明
	団体負担（会費・寄附等）		
	参加費・資料代等		
助成金	よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金	〇〇,〇〇〇	<b>申請書（第1号様式）の申請額と同じ額です。</b>
	その他の助成金		
	合 計	〇〇,〇〇〇	

【支出】

	項 目		金 額	説 明（使途、積算根拠等）
	ファシリテーター派遣 報酬費	★	90,000	2回分
	人件費	★	〇〇,〇〇〇	〇人（〇,〇〇〇円）×〇時間×〇回
	資料印刷費	★	〇〇,〇〇〇	△△△部×〇〇〇円
	材料費		〇,〇〇〇	
	交通費		〇,〇〇〇	〇人×往復〇,〇〇〇円×〇回
	広報費		〇,〇〇〇	
	△△△費		〇,〇〇〇	
	△△△費		〇,〇〇〇	
	合 計		〇〇,〇〇〇	

**必要のない項目は削除、必要な項目は追加してください。**

**★印をつけた項目は、報告時に領収書の添付が必要です。  
★印をつける項目は、1個以上、全部でも可  
★印をつけた項目の合計額 ≥ 申請額**

**減額によって取組の内容に変化が生ずる場合でも、実施するなら「はい」に〇してください。**

\*申請する取組の収支予算を記入してください。

\*よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金の対象経費とする予定の支出項目に★印を付けてください。

助成金申請額を減額して助成金の交付決定をした場合、当該取組の実施は可能か？  
 ( はい                      いいえ ) ←いずれかに〇

※ この書類は、横浜市市民協働条例第7条第4項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。